

化成品工業協会（化成協）が、大手会員などの支援を受けながら、各種プログラムを拡充させている。「情報発信プログラム」「人材育成プログラム」「保安力向上プログラム」について、新システムの導入や基本デザインの見直しなどにより、充実化を図っている。また、「事業支援プログラム」を新設、本格始動を予定しており、中小会員の事業活動および新規事業創出を全面的にバックアップしていく。

化成協の所管製品はペルクからファイン・スペシャリティケミカル製品

化成品工業協会

まで広範囲で、種類や用途も多岐にわたってい

る。会員数は現在124社で、大手会員から中小会員まで幅広い構成とな

っている。

現在大手会員の支援により、情報発信プログラムを新設、本格始動を予定しており、中小会員の事業活動および新規事業創出を全面的にバックアップしていく。

化成協の所管製品はペルクからファイン・スペシャリティケミカル製品

情報発信などプログラム拡充

まで広範囲で、種類や用

途も多岐にわたってい

る。会員数は現在124社で、大手会員から中小会員まで幅広い構成とな

った。

昨年は2785件を配信され、閲覧状況を瞬時に把握するとともにデータとして蓄積できるようにし

た。同時に、化成協のホームページ（HP）にメニューのアーカイブ機能を付与し、いつでも閲覧が可能となった。

化成協が会員企業向けに「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成でプログラムを実行していく予定だった。ただ、実行していくうえで当初の

のが難しいと判断、基本デザインを大幅に見直すこととした。

化成協では、

「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成で

プログラムを実行していく予定だった。ただ、実

行していくうえで当初の

のが難しいと判断、基本

デザインを大幅に見直す

こととした。

会員企業の保安力強化

を目的とした保安力向上

プログラムについては、

「保安力向上ワーキング

グループ（WG）」を設置

した。地区ごとに毎月会

議を開催、事故事例や安

全に関する取り組みなど

の意見交換を行なうととも

に、化成協から安全関連

情報を紹介することで、

供してほしいという声が

寄せられていることか

ら、今後、1つのプログ

ラムとして組織的に継続

して実施していく。

事業支援プログラム充

実のために、会員を対象

としたアンケートも実施

され、まずはアンケート

結果をもとにデータベース

を作成、公開を始めるな

ど、過去の報告事例を含

めメンバーがいつでも確

認できるようにしてい

る。

このほかにも化成協で

は、会員企業の新規事業

創出支援の一環として、

事業支援プログラムを新

る新規技術情報を積

極的に発信することで、

会員の新規事業創出を支

新たにイノベーション支援も

関西・和歌山の3地区で「保安力向上ワーキング

グループ（WG）」を設置した。地区ごとに毎月会議を開催、事故事例や安

全に関する取り組みなどをメール情報の有効配信を目的に新システムを導いた。当初、第1段階で「現状把握」、第2、第3段階

で「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成でプログラムを実行していく予定だった。ただ、実行していくうえで当初の

のが難しいと判断、基本デザインを大幅に見直すこととした。

化成協が会員企業向けに「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成で

情報発信プログラムを新設、本格始動を予定して

いた。会員企業の保安力強化を目的とした保安力向上

プログラムについては、

「保安力向上ワーキング

グループ（WG）」を設置

した。地区ごとに毎月会

議を開催、事故事例や安

全に関する取り組みなどを

メール情報の有効配信を目的に新システムを導いた。当初、第1段階で「現

状把握」、第2、第3段階

で「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成で

プログラムを実行していく予定だった。ただ、実

行していくうえで当初の

のが難しいと判断、基本

デザインを大幅に見直すこととした。

化成協が会員企業向けに「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成で

情報発信プログラムを新設、本格始動を予定して

いた。会員企業の保安力強化を目的とした保安力向上

プログラムについては、

「保安力向上ワーキング

グループ（WG）」を設置

した。地区ごとに毎月会

議を開催、事故事例や安

全に関する取り組みなどを

メール情報の有効配信を目的に新システムを導いた。当初、第1段階で「現

状把握」、第2、第3段階

で「現場力向上」と「技術継承」という3段階構成で